



急性出血性結膜炎

🔍 病気の説明 (どんな病気?)

エンテロウイルス70型及びコクサッキーウイルスA24変異型によって引き起こされる、激しい出血症状を伴う結膜炎です。1年を通して発生し、1~4歳に比較的多く発生します。突然の強い眼の痛み、異物感、目やにが現れ、結膜充血や出血を伴うことが多いです。まれに6~12カ月後に四肢運動麻痺を生じることがあります。

🔍 予防 (感染はどう防ぐ?)

ウイルスが付着した手で目に触れる、ウイルスで汚染されたタオルなどの共用で感染する接触感染です。潜伏期間は、エンテロウイルス70型は平均24時間、コクサッキーウイルスA24変異型は2~3日です。感染力が強いです。



家庭内感染を防ぐため、目に触れたら速やかに石けんと流水で手洗いをしましょう。タオル、枕など、目やにや涙で汚染する可能性がある物の共用は避けましょう。アルコールは効きにくいいため、日常的に触れるおもちゃなどの環境消毒には、次亜塩素酸ナトリウムを用います。感染者の入浴は、家庭内で最後にするか、シャワーのみにします。

🔍 治療 (感染したときは?)

基本的に対症療法です。眼症状が強い場合には、眼科的治療が必要になることもあります。

🔍 登園・登校の基準

眼の症状が軽減してからも感染力の残る場合があり、医師において感染のおそれがないと認められるまで出席停止とされています。登園・登校を再開しても、引き続き手洗いを心がけましょう。

- 🔍 詳しく知りたい方は [急性出血性結膜炎について | メディカルノート \(medicalnote.jp\)](https://medicalnote.jp)
- 🔍 横浜市の流行状況 [横浜市感染症情報センター 横浜市 \(yokohama.lg.jp\)](https://yokohama.lg.jp)

